

## タイトル「循環型地域づくりのモデル事業」

### （提案の趣旨）

人類の将来を見るとき、不安になるのが温暖化と資源不足である。温暖化は主として二酸化炭素の過剰排出によって起こる。過剰排出の一因は資源の過剰使用による。つまり双方が連動しているということである。

地球規模の案件を地域から考える必要性が叫ばれて久しいが、地域で出来ることの一つが資源の無駄遣いを防止することだ。ささやかだがモデル事業を提案する。これをモデルとなって全国の自治体に広がることを期待している。

### （提案の内容）

その1：わが国ではすべての自治体でゴミ収集が行なわれているが、分別が徹底しているので、衣服、図書、家具などの収集が個別に可能と聞く。そこでその中から再利用可能なものは備蓄しておき、例えば三カ月おきごとに日を定めリサイクルフェアを実施し、低廉な価格で希望者に買い取ってもらってはどうか。

例えば、本は文庫本でもなんでも一冊三十円。ジーンズや子供服もどれでも三百円。家具は当日展示し入札を行なって高い値をつけた人に買ってもらうという手法だ。

その2：リサイクルフェアと名乗ってやるのだから、地元のリサイクルショップにも連絡し、協調体制でやるという手法もプラス効果が出る。

その3：場所は自治体のゴミ収集の事務局のある会議室や展示場でよい。最寄り駅から無料バスを出すという配慮があってもよい。

その4：環境配慮への意識啓発をはじめ、ゴミ収集や分別収集の広報のほか、体験教室などを同時に実施できれば、地味だが大切なことへの住民意識への大きな啓発になる。

その5：大切なのはこのフェアの売り上げのうち、自治体分はすべて被災地へ寄付するということ。寄付をしたこと、寄付の額はそのつど市町の広報紙へ掲載し公表し、市町民への意識高揚を図る。

### （提案の効果）

自治体の清掃局への住民意識が高まるほか、地球環境への地域からの取り組みを広げるモデル事業になる。

また取り組みを全国に広げるモデル事業にもなる。